

【IV. 指標以外の観点からの評価】

| 取組 No. | 指標以外の観点からの評価 |
|--------|---|
| ① | ・新型コロナウイルス感染症で地域の行事や祭りが開催困難の中、予防対策をとることでコロナ以前に近い件数の事業が実施できた。今後も、事業実施と感染症対策との両立を図りながら、地域の課題解決に繋がる取り組みの掘り起こしを行い、補助金のさらなる活用を促進する。 |
| ② | ・国東半島の現代アートを更に拡充するために国東市と豊後高田市に現代アートを制作設置した。また、アーティストによるシンポジウムを開催した。 ・ジオパークの再認定審査を受け、重要文化的景観の取り組みやガイド活動等が高く評価され、R4年1月末に日本ジオパーク再認定が決定した。 ・ユネスコエコパークの認知度向上のため、オフィシャルアーティストによる県内外での情報発信を行うとともに、誘客拡大を図るため、自然散策路のコースマップや紹介動画を制作した。 |
| ③ | ・地域おこし協力隊員のネットワーク化や、OB、OGIによる定期訪問などにより、隊員の活動環境の整備が図られた。 ・観光・地域づくりを担う人材の育成を目指すおおいだツーリズム大学の修了生が累計342名となった。(R3年度新規修了生20名) |
| ④ | ・充実した移住者支援メニューにより、前年度を上回る空き家バンクの利活用数となった。 |
| ⑤ | ・県内6振興局ごとの特徴を生かした産業振興や仕事づくりに取り組んだ。(Ⅱ-8-(2)参照) |

【V. 施策を構成する主要事業】

| 取組 No. | 事業名(3年度事業) | 事務事業評価 | |
|--------|----------------------|-------------|-----|
| | | 成果指標の達成率(%) | 掲載頁 |
| ① | 地域活力づくり総合補助金 | 102.6 | 272 |
| ② | 祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク推進事業 | 167.7 | 65 |
| | おおいだジオパーク推進事業 | 56.0 | 65 |
| | 芸術文化による地域おこし事業 | 159.6 | 341 |
| ③ | ふるさと大分UIJターン推進事業 | 86.5 | 152 |
| | おもてなし人材育成事業 | 1.5 | 243 |
| ④ | 移住者居住支援事業 | 86.5 | 153 |

【VI. 施策に対する意見・提言】

| | |
|--|--|
| <p>○第18回大分県まち・ひと・しごと創生本部会議(R4.2) ・空き家バンク登録物件数の増加を図り、さらに支援策を拡充していただきたい。</p> | <p>○第4回「安心・活力・発展プラン2015」推進委員会 (R3.8) ・芸術分野はコロナ禍であるが引き続き力を入れて支援してもらいたい。</p> |
|--|--|

【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

| 総合評価 | 施策展開の具体的内容 |
|------|--|
| A | <ul style="list-style-type: none"> ・アフターコロナを見据えた取り組みを支援するとともに、地域の遊休資源である廃校を活用した地域活性化や空き家を活用した地域ビジネスの創出など、地方創生に資する取り組みを引き続き推進する。 ・芸術文化団体や市町村等と連携し、現代アート等による新たな地域拠点の創出など、芸術文化を活用した交流人口の増加につなげる。 ・地域を牽引するリーダーを育成するため、おおいだツーリズム大学において、実践例の体験や各地の取り組みを題材に議論を行うなど、県内外での講義を実施していく。 |